

# 生産性向上支援訓練 利用者の声

受講コース：現場社員のための組織行動力向上  
(令和5年8月19日、9月16日、10月21日、11月18日)

## 受講事業所基本情報

- ・事業主名 株式会社アイエスツール
- ・所在地 広島県福山市御幸町中津原1698-1
- ・事業内容 切削工具の再研磨・再コーティング

## 訓練内容

【ねらい】企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。

1. 企業組織と生産活動
  - (1) 企業経営の仕組み
  - (2) 生産活動の目的と目標
  - (3) 経営者の視点とコスト感覚
2. 状況変化に対応する現場力
  - (1) 現場力を高めるための要素
  - (2) 現場の問題発見と改善姿勢
  - (3) 現場力の継承と人材育成
  - (4) 専門性向上の必要性
3. フォロワーシップと組織行動力
  - (1) フォロワーシップとは
  - (2) 組織行動力に直結するフォロワーとしての役割
  - (3) 管理者への提案方法



## 具体的な成果

社内での研修は、この制度を利用する以前も行っていましたが、成果を出すまでには至っておりませんでした。しかし、生産性向上支援訓練を受講したことにより新規顧客の獲得が進み、売上が13%程度増加しました。これにより従業員の平均賃金を8%アップさせることが実現でき、専門家から基本知識を学ぶことの大切さを実感しています。

また、当社の技術が認知され、現在では、毎月1,500社からドリル刃の再研磨を受注できるようになり、その結果、日本の町工場の技術力とドリル刃の再利用化という環境問題への取り組みの成果として海外からの誘致を受け2025年度にベトナムに工場を新設するまでに至っております。

## 受講者の声

私は入社3年目で、現場でドリルの刃の再研磨の仕事を行っており、令和4年度から生産性向上支援訓練に参加しています。訓練受講前は、会社に来たら仕事があるのが当たり前という感覚でしたが、組織マネジメントや営業販売の訓練を営業部門の方と一緒に学んだことにより、営業の方が大変な思いをして仕事を取ってきてくれているという意識と共に、お客様の顔を思い浮かべながら作業をするようになりました。また、訓練受講により、不良率や手直し率を意識するようになったおかげで、不良率を減少させることができています。引き続き訓練により、作業上のムダな部分を把握し、効率よく作業を行うためのノウハウを学んでいきたいと考えています。



製造職 三宅 隼太様

## 受講者の声

私は入社2年半で、関東エリアの一部の営業を担当しています。まだ営業マンとしての経験が浅いため、新規の受注を取るため、がむしゃらに数千社を訪問し、それでもやっと40社獲得するのが精一杯です。今回の訓練を受講することによって、自分の置かれている状況を数値で把握できるようになったため、考え方や取り組み方が変化したことが成果だと思います。自分自身新規顧客をとることはばかりに専念してしまい、お客様の気持ちになって考えていない部分があるため、訓練時に指摘をされることもあります。今後は訓練で得た知識を活かして、お客様の目線に立った営業をするとともに、効率よく新規顧客を獲得できるようさらに知識を付け業務に活かしていきたいと考えています。



営業職 小野 将忠様

## 事業主の声

生産性向上支援訓練のことは、以前から人材育成等に関する相談をしていた銀行からの紹介で知りました。当社では、平成29年度から営業職と製造職を対象に毎年2~3コースを申し込み、月1回のペースで土曜日の半日を利用し、年間を通して訓練を受講しています。

当社は小さな町工場であるため、これまでの営業活動は、諸先輩方から教わったノウハウを基に独学で行ってきたため、営業に関する基本的な学びに欠けていたと感じておりました。生産性向上支援訓練により学んでいると多くの気づきがあります。その中で私の経験から重要だと思うポイントに対し、関連する実務課題を従業員（訓練受講者）に与え、1か月後に開催する次の研修までに従業員と共に私も取り組んでいます。結果は人により異なりますが、私が実践で取り組んだ内容を従業員に示すことで、さらに実践面においても従業員に新たな気づきが出てきております。お陰様で毎年100件程度の取引件数増加に繋がり、売上げ実績も上昇しました。従業員に研修の感想を聞くと、「この研修がなくなったら危機です。どのように売上げを伸ばしていけばよいのかわからなくなります。」という意見が多数あります。

私は「売上げを伸ばさせる人材を育成する」という覚悟で取り組んでおり、そのためには生産性向上支援訓練の受講機会は欠かせないと考えております。



代表取締役社長 石原 雅也様